優秀賞

正社員（今金高等養護学校卒業生）による水稲苗積込作業

「わが村は美しく－北海道」運動第９回コンクール応募団体

一般社団法人ｉ･スマイル

【今金町】

障がい者雇用による農作業などの人材確保と町経済の活性化

はじまりは？

基幹産業である農業後継者減少と、それに伴う過疎化、更なる人口減少に危機感を持った今金町商工会が、多様な人材が活躍できるビジネスモデルとして見いだしたのが、地元、今金高等養護学校の生徒の受け皿でした。

これまで地元に仕事がなく、他地域に流出していた当校卒業生を、農業の働き手として雇用できないか、実証実験を町、農協、農業者、商工業者、学校らと取り組んだ結果、地域の諸課題解決の答えが、農作業や観光サービスなどへの当校卒業生の正社員雇用でした。

その達成、ソーシャルタウン今金を目指し、12名の町内商工業者有志によって平成29年３月に設立しました。

おもな活動

４～10月はミニトマトや水稲苗等管理・収穫、11～３月はしいたけ管理栽培等を障がい者が請け負います。また、年間を通して町内観光案内・土産品・農産物の販売業務を行います。

商工会は障がい者社員の農園までの送迎や、人材育成に携わります。将来は特産品「今金男爵」の加工場を誘致し、加工作業請負を目指します。

ミニトマト手入れ（上）

観光案内所「にぎわいプラザひだまり」（右）

ここが自慢

【障がい者が共存できるソーシャルタウンの実現】

地元今金高等養護学校卒業生が、就職によって町内にとどまり、多様な人材が活躍することで町内の活性化とともに、関係者の雇用を増やし人口減少を抑えます。また、農地再編事業とともに農業の担い手不足に応え、働き手の確保で農業の活性化の一翼を担います。

町内空店舗利用の販売業務、人の流れをつくります（上）

ミニトマト（中下）

観光案内所カウンター（右下）

連絡先

代 表 者 名 ：齊藤　忠さん／設立：2017年／会員：12名

住　　所 ：瀬棚郡今金町今金162－１

電 話 番 号 ：0137-82-3601

Ｆ　Ａ　Ｘ ：0137-82-3601

Ｅ－ｍａｉｌ：Ismail2017219@gmail.com

Ｕ　Ｒ　Ｌ ：－